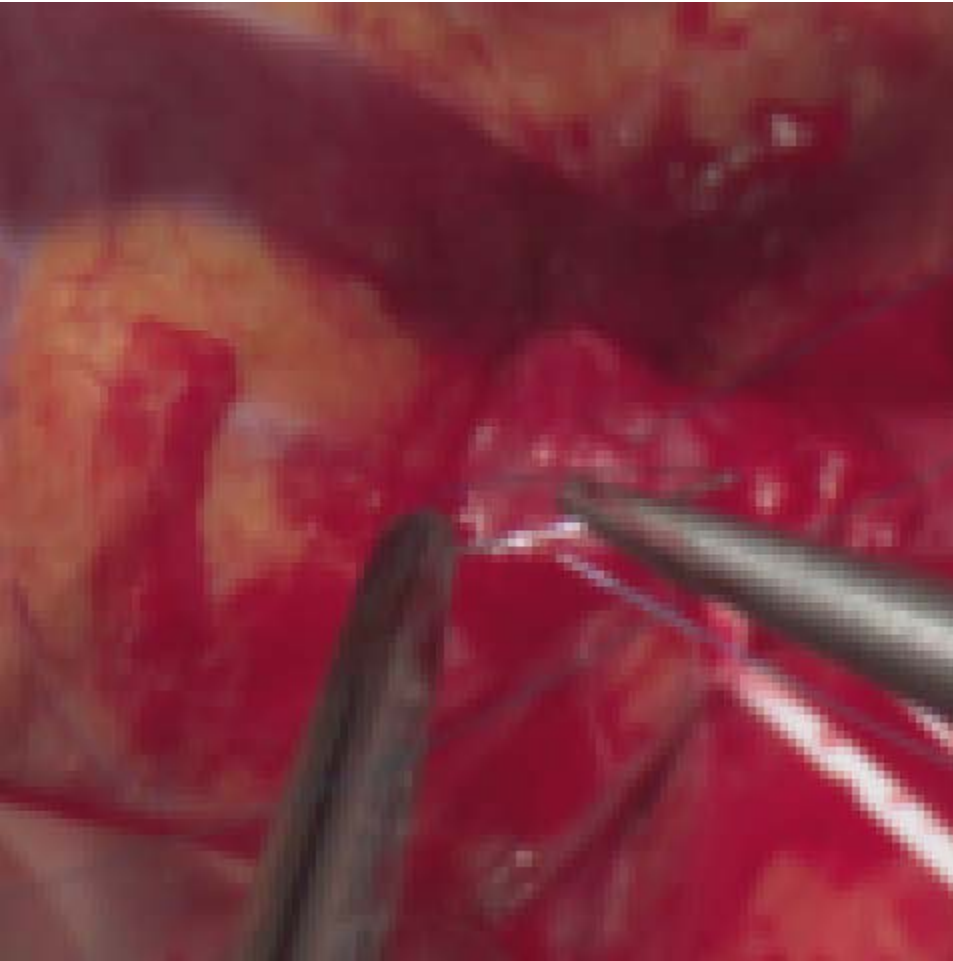
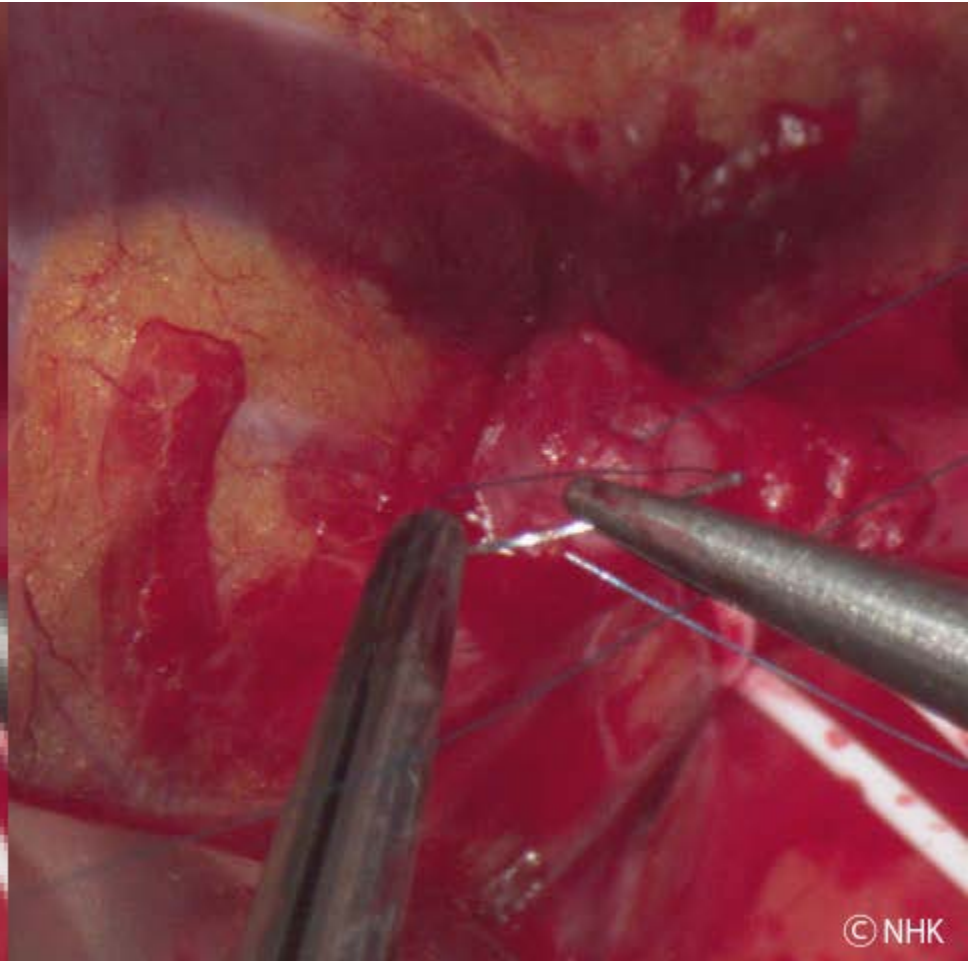


ICTの効用 百聞は一見に如かず 2Kと8Kテレビ・カメラの違い

資料1-3



2K



8K

©NHK

8Kスーパーハイビジョン 医療における応用

微細手術のモニター

微小な血管や神経の吻合手術
拡大鏡や顕微鏡を用いた手術
術野を観察できるのは術者

術者以外はTVモニターを通じて進行状況を把握
細い糸や針先が術者以外でも観察可能
術者自身も手術後に見直すことにより学習可能
手術中の術野の拡大撮影により、病変部位を
同定

8Kスーパーハイビジョン 医療における応用

内視鏡(腹腔鏡)検査、手術

すでに毛細血管を観察できるレベルまで解像度が向上
細胞レベルの観察が可能となれば、早期のがんを発見

期待:内視鏡(腹腔鏡)用8Kスーパーハイビジョンの開発

8Kスーパーハイビジョン 医療における応用

病理診断

遠隔医療(病理医不足)

特殊ながんの診断(病理医の数は限定)

遠隔地での手術中の迅速診断

乳がんでリンパ節に転移があれば、拡大廓清
膵臓がんで、断端にがんがあれば、切除拡大

病理標本のデジタルライブラリー

大画面を用いたカンファレンス、学会報告